

自立活動の6
区分から児童
の実態を整理

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
実態把握	○体調は安定している。	○ホワイトボードに書かれているスケジュールを理解し、見通しをもって活動できつつある。	○特定の友達にに関わりを求めるようになってきた。 ○好きな物を友達に貸したり分けたりすることが難しい。	○環境の変化や感触に敏感である。 ○一度行った場所は覚えていて等空間認知に長けている。	○走る、跳ぶ等のダイナミックに体を動かすことが好き。 ○はさみやのりを使って工作することが苦手である。	○二語文で「～ください」「～に行きます」と話したり書いたりして伝えることができつつある。

優先する目標

指導目標
① したいことや欲しいものを自分で選んで言葉で伝えることができる。
② 簡単なルールを守って友達と遊ぶことができる。

指導目標を達成するために必要な項目の選定

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選定された項目		(1)情緒の安定 (2)状況の理解と変化への対応	(1)他者との関わり の基礎 (4)集団への参加 の基礎	(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	(5)作業に必要な動作と円滑な遂行	(1)コミュニケーションの基礎的能力 (2)言語の受容と表出 (3)言語の形成と活用 (5)状況に応じたコミュニケーション

選定された項目を関連付け、具体的な指導内容を設定

具体的な指導内容	① したいものや欲しいものを自分で選択し、言葉で伝える。	② カテゴリーや用途理解等の言語理解を深める。	③ 順番を守って友達と遊ぶ。	④ はさみやのり等を目的的に使う。								
手立て	① iPad や絵カード、ホワイトボード等、本児が「伝える」手段を選択できるように呈示しておく。	② 「乗り物」や「動物」等、本児が興味のあるものをカードにし、分類することでカテゴリーの理解を促す。	③ 簡単なルールのあるゲームを通して、順	④ スプリング機能がついているはさみを使って開く 繰り返し								
12/2	教材・教具名	選	集	教材・教具名	選	集	教材・教具名	選	集			
呈示した教材教具 (新城)	① ことば絵じてん			① 動物消しゴム組み立て	◎	◎	① にじいろのへび			① 切り絵	○	△
	② たべもの202	◎	◎	② 果物消しゴム組み立て	◎	◎	② 黒ひげ一発					
	③ タッチペン	◎	◎	③ ことば辞典作り								
	④ ひらがなカード											
評価	・タッチペンをA児の手が届かない棚の上に置いておくことで、教師に「タッチペンください」と伝えることができた。			・組み立てた消しゴムを「動物」「果物」に分けてケースに収める活動は、一人で集中してできた。			・おもちゃ消しゴムに夢中になり、友達とのゲームには参加しなかった。			・はさみ課題はA児の興味を引くものではなかった。内容の工夫が必要。		

指導内容に即して呈示した教材・教具名と児童の学習の様子を評価する

〈評価の基準〉
【選】選択 ◎：自分で選択した／○教師が提示した
【集】集中 ◎：課題が終わるまで集中できた／○：途中で集中がされたが最後までがんばった／△：途中で終わった